

基調講演

COVID-19 の臨床 演者

国立国際医療研究センター

国際感染症センター長

大曲貴夫先生

座長

APCER Life science

京都薬科大学

芹生卓先生



Graphic recording



Kanna Yoshikawa

2021/10/30(Sat.)



グラフィックレコーディング 吉川観奈

基調講演

COVID-19 の臨床



国立国際医療研究センター
国際感染症センター長
大曲貴夫先生

社会のインフラ整備

重要性



軽症でも
通常生活困難



呼吸困難

SPEED が早い病気

第5波を受け
今後の対策に重要な
・在宅、オンライン診療
・内服薬
・ワクチン接種強化



重症化を抑える対策!!

今後の課題



重症化 怖く知る

物事の問題の大ささ把握
もう少し詳しく
リアルな経験談
話します



重症化を抑える ために

初めての経験、初めての患者
自然経過



完全回復
まで
3ヶ月かかった

筋力の
低下

ECMO 3 week

Thanks
BUT
呼吸不全は
回復...

Graphic recording



Kanna Yoshikawa

グラフィックレコーディング

吉川観奈

JAPhMed
The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine

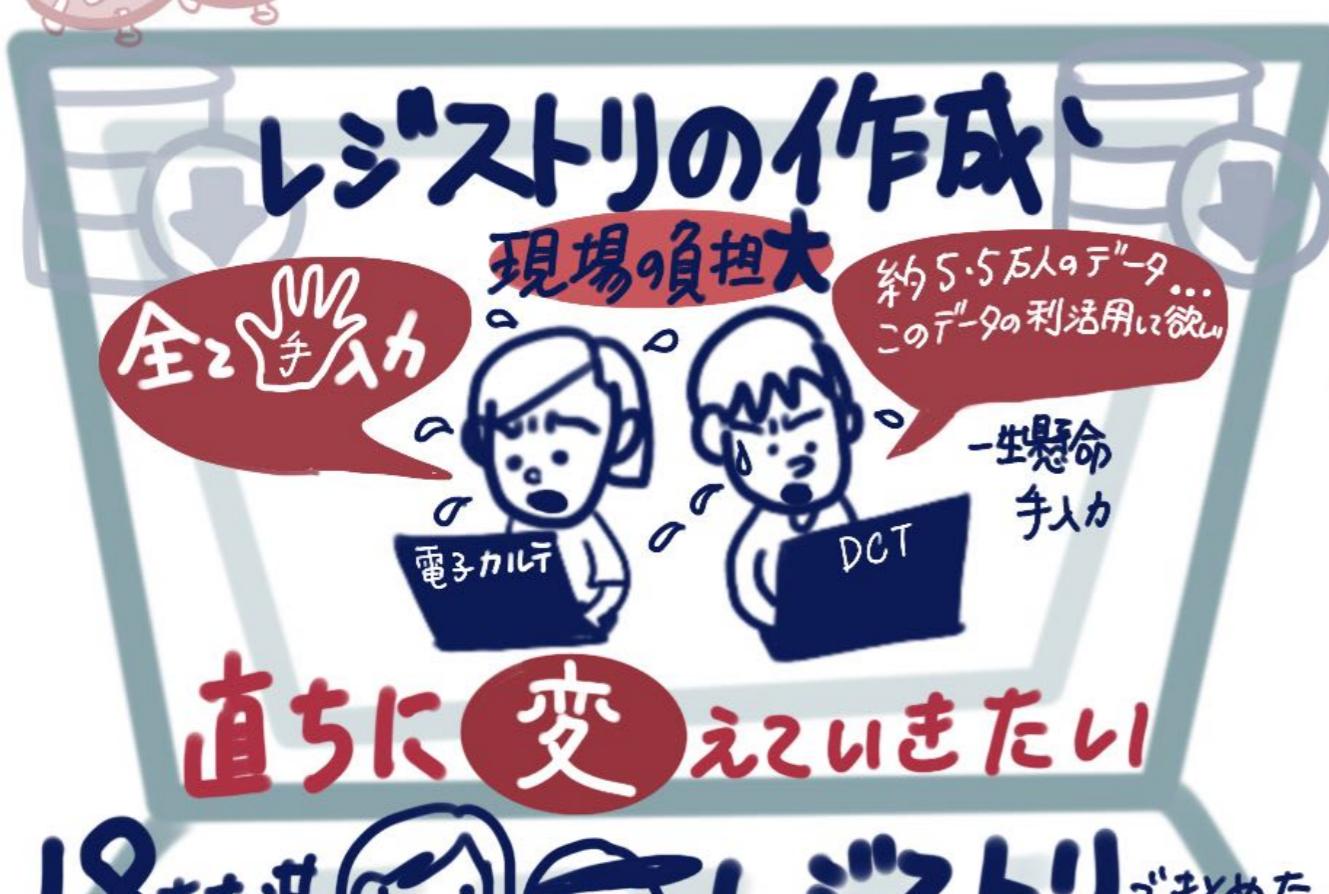


基調講演

COVID-19 の臨床

有事の医療拡充
がい
必要です!

一般診療を抑制する
日々の生活直撃
倫理的な手続とに必要!
国立国際医療研究センター長
国際感染症センター長
大曲貴夫先生



基調講演

COVID-19 の臨床

Learning from
UK



platformの大切さ

コンセプト明確に働くことを重視

Data Linkage の成功

Quick → Design

Big → Sample size

Simple → インフラ体制・CRF・IC・手続を

有事の開発が肝! & funding

研究 platform, マスター・プロトコルの重要性

検査～早期エシグの標準的対応確立!!

根元的に R&D を CHANGE !! すべき!!



国立国際医療研究センター
国際感染症センター長
大曲貴夫先生

